

公表

事業所における自己評価総括表

|                |                              |    |          |
|----------------|------------------------------|----|----------|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービスひまわり袋井駅前校          |    |          |
| ○保護者評価実施期間     | 2024年 10月 2日 ～ 2024年 10月 20日 |    |          |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                       | 11 | (回答者数) 8 |
| ○従業者評価実施期間     | 2024年 10月 2日 ～ 2024年 10月 20日 |    |          |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                       | 7  | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2024年 11月 20日                |    |          |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること         | 工夫していることや意識的にやっている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 様々な年代・環境・社会権を積んだ人の集まりのため、多面から物事を見たり、話を深めていくことができる。 | 世間話を通して、それぞれの家庭の事情や好き嫌い、考え方を共有し人となりを知ること、話をしやすく環境や助け合える環境を作っている。   |   |
| 2 | 利用児個々の特性にあった支援・対応をスタッフ間で共有し、対応している。                | 気付いたことは振り返りを行い、支援に反映できるようにしている。<br>おもちゃを既成のままではなく、子どもたちの使いやすさに合わせて調整したり手作りのおもちゃを作成し、出来ることや達成感につながるようにしている。 | 保護者にもどんな支援を行っているのかわかりやすく視覚化（校舎内の装飾・制作物の展示など）することで、その反応からも次の支援に繋げられるようにしている。 |
| 3 | 保護者の方とのコミュニケーションが取れている。                            | 連絡ノートやLINEなどを活用し、こまめに情報共有をすることに努めている。  | 接遇の面でも今まで以上に注意をしていく。  |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                             | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                    |
|---|--|--|---|
| 1 | スタッフによって知識・技量に差がある。  | 何がわからないのか、どのように勉強をすればいいのか、何を理解していないから出来ないのかなど、それぞれの力量の把握がお互いに不足している。 | 勉強する機会を増やしていく。<br>他者に聞きやすい環境作り・人間関係づくり。 |
| 2 | 保護者・きょうだいが一堂に会して関わりを持つ機会がない。<br>他施設との交流が行えていない。<br>新しい情報、幅広い情報が入ってこない。 | 校舎自体が狭い。<br>駐車場の確保が難しい。  | 近隣の公共施設を活用していく。                         |
| 3 | スタッフが女性ばかりのため、体の大きな児の移乗・歩行介助が大変になっている部分がある。<br>同性介助が行えないため配慮が必要。       |  | ボディメカニクスや姿勢管理の勉強の機会を増やす。                |